



本事業は、SDGsの「17 パートナリツプで目標を達成しよう」に資する取組です。

2024年7月6日(土)
 愛知県経済産業局革新事業創造部
 海外連携推進課海外戦略グループ
 担当 奥山、伊藤
 内線 5371、5264
 ファクシ 052-954-7526
 愛知県経済産業局産業科学技術課
 水素社会実装推進室
 水素企画グループ
 担当 都筑、亀山
 内線 3385、5742
 ファクシ 052-954-7416

知事のポルトガル・スペイン渡航中の行事結果について

2024年7月5日(金)午前、知事はポルトガル共和国リスボン市において、スタートアップ支援拠点であるUNICORN FACTORYにて、ポルトガル共和国経済省傘下のスタートアップ支援機関であるスタートアップポルトガルとスタートアップ支援に関する覚書を締結しました。

午後には、ペドロ・レイス経済大臣と面談し、スタートアップ支援に関する覚書を締結しました。

その後、ポルトガル政府から紹介されたグリーン水素関連企業(Galp)を訪れました。

1 スタートアップ支援拠点(UNICORN FACTORY)訪問及びスタートアップポルトガルとの覚書締結 (担当課:海外連携推進課)

(1) 日時

2024年7月5日(金)午前10時から正午まで
 (日本時間7月5日(金)午後6時から午後8時まで)

(2) 場所

UNICORN FACTORY

(3) UNICORN FACTORY 出席者

ジル・アゼベード エグゼクティブディレクター
 ジョセ・モタ・リール プロジェクトマネージャー

(4) スタートアップポルトガル出席者

アントニオ・ディアス・マルティンス 専務取締役
 ペドロ・サクラメント 企画・運営責任者

(5) スタートアップポルトガルが支援するスタートアップ出席者

GLARTEK ブルーノ・デュアルテ CEO
 ENLINE サルバドール・バッサロ シニアマネージャー

(6) 愛知県側出席者

大村秀章知事

(7) 内容

大村知事は、リスボン市によって設立されたスタートアップ支援拠点である UNICORN FACTORY を訪問しました。

始めにアゼベード エグゼクティブディレクターから「ポルトガルでは、直近10年間で多くのスタートアップ支援を行い、ヨーロッパの中でも最も重要な拠点の一つと言われている。特にスタートアップの国際化が非常に重要で、歴史的な繋がりのある日本との協力関係を強化したい。」と発言がありました。大村知事からは、愛知県の産業の特徴や、2024年10月31日の開業に向けて整備を進めている STATION Ai 等について説明を行いました。

また、UNICORN FACTORY とスタートアップポルトガルから、それぞれ組織概要や、スタートアップがアイデア段階から自走するまでの支援に関する説明を受けました。これに対して、大村知事からは「スタートアップを育てるための投資や税制優遇制度は素晴らしい。今後は双方ともグローバルなネットワークの構築が必要と考えているので、今回の連携を機に更にネットワークを広げていきたい。」と発言しました。

その後、スタートアップポルトガルが支援するスタートアップ2社がピッチを行いました。

最後に、覚書締結式を行い、スタートアップ支援やイノベーションで愛知県とポルトガル共和国の親密な協力・連携を進めることで、相互に有益な関係構築を図ることに合意しました。

(8) 覚書締結式について

ア 署名者

大村秀章知事

アントニオ・ディアス・マルティンス スタートアップポルトガル専務取締役

イ 覚書名称

スタートアップポルトガルと日本国愛知県との友好交流及び相互協力に関する覚書

ウ 覚書内容

- ・両署名者は、尊敬と相互信頼に基づく緊密な友好関係の確立に努力する。
- ・両署名者は、特にスタートアップ支援を含め、それぞれの権限の範囲内で相互に有益と認められる分野において協力する。



大村知事による STATION Ai の説明



UNICORN FACTORY 及びスタートアップポルトガルとの意見交換



マルティンス スタートアップポルトガル専務取締役との覚書締結

記念撮影（左から、デュアルテ GLARTEK CEO、マルティンス スタートアップポルトガル専務取締役、アゼベード UNICORN FACTORY エグゼクティブディレクター、バッサロ ENLINE シニアマネージャー）

【UNICORN FACTORY 概要】

(1) 概要

2022年にリスボン市によって設立されたスタートアップ支援組織。創業期から拡大期、またユニコーンへの成長に至るまで支援を行い、リスボン市の起業家エコシステムを拡大することを目的としている。

(2) 運営

スタートアップ リスボア

Startup Lisboaの傘下のブランドとして運営されている。

※Startup Lisboa：リスボン市、モンテピオ銀行、ポルトガル競争力イノベーション庁によって設立された民間の非営利団体。起業家支援、雇用創出、リスボン市の社会、経済発展を目的としている。

(3) 事業内容

主に四つの領域で活動を行っている。

- ア 初期段階のスタートアップ向けの「アーリーステージ」インキュベーション
- イ 成長段階のスタートアップ向けの「グロースステージ」プログラム
- ウ 国際的なスタートアップやリスボン進出を計画しているスケールアップ企業向けの「ソフトランディング」支援
- エ 「イノベーションハブ」の運営

【スタートアップポルトガル概要】

(1) 概要

ポルトガルのスタートアップエコシステムを支援し、発展させることを目的に 2019 年に政府主導で設立された非営利団体。特に、外国の起業家や投資家の誘致を目指し、様々なプログラムを提供している。

(2) 運営

ポルトガル政府とそのパートナーであるポルトガル競争力イノベーション庁によって運営される。また、様々なインキュベーターやアクセラレーターと連携して、スタートアップ支援を行っている。

(3) 事業内容

スタートアップビザ・テックビザの斡旋、海外出展支援、ウェブサミット参加支援、資金調達支援、コミュニティ運営

※スタートアップビザ：起業を予定する外国人に一時的な在留資格を認める制度

※テックビザ：技術革新的な企業で活動したい高度な資格を持つ外国人に滞在許可を与える制度

2 ポルトガル共和国経済大臣との面談、覚書締結（担当課：海外連携推進課）

(1) 日時

2024 年 7 月 5 日（金）午後 4 時から午後 5 時まで
（日本時間 7 月 6 日（土）午前 0 時から午前 1 時まで）

(2) 場所

ポルトガル投資貿易振興庁

(3) 経済省出席者

ペドロ・レイス経済大臣

ジョアン・ルイ・フェレイラ 経済副大臣

ゴンサロ・サンパイオ CoS（チーフ・オブ・スタッフ）

コンセイサン・サントス・シルバ CoS

フェルナンダ・フェレイラ・ディアス 経済部門ダイレクタージェネラル

ジョアナ・ゴンサルベス・ペレイラ 外交顧問

(4) 在ポルトガル日本大使館出席者

おおたまこと
太田 誠 在ポルトガル日本国大使館特命全権大使

いわとたかひろ
岩戸孝広 在ポルトガル日本国大使館一等書記官

(5) 愛知県側出席者

大村秀章知事

(6) レイス経済大臣との面談について

面談では、始めにレイス経済大臣から「日本は最も大きなパートナーと考えている。連携をどうスムーズに進めていくかを話し合いたい。」と挨拶があり、歓迎されました。大村知事からは、午前中に UNICORN FACTORY を訪れ、スタートアップポルトガルとスタートアップ支援に関する覚書を締結したことに触れるとともに、「ポルトガルと日本の交流が始まって 480 年経っている。愛知県は日本で一番多くの日系ブラジル人が暮らし、ポルトガル語を話す人が多い。愛知県にとってゆかりの深い皆さんと関係を深めたい。」と発言しました。これに対し、レイス経済大臣からは、「経済発展のために、既存企業の近代化が必要と感じており、また、テーマパークなど観光産業にも力を入れている。この点で、愛知県はモデルになる。」との発言がありました。大村知事からは、「特に今回のテーマとなっているスタートアップについて、相互協力、連携していくことで、win-win な関係を構築し

ていきたい。この具体化に向けて、覚書の締結を通じて関係を深めていきたい。」と述べるとともに、「日本・愛知は、2028年技能五輪国際大会の開催地に立候補しており、その開催地は、9月に開催される「WSI※」の総会で決定する。本大会は1950年にポルトガルとスペインで第1回大会が開催された。是非御支援をお願いしたい。」と発言しました。

最後に、覚書締結式を行い、今後の具体的な連携について両者で協議していくことで合意しました。

※WSI (WorldSkills International) : 技能五輪大会を運営する国際団体

(7) 覚書締結式について

ア 署名者

大村秀章知事

ジョアン・ルイ・フェレイラ経済副大臣

イ 覚書名称

ポルトガル共和国経済省と日本国愛知県との友好交流及び相互協力に関する覚書

ウ 覚書内容

- ・両署名者は、尊敬と相互信頼に基づく緊密な友好関係の確立に努力する。
- ・両署名者は、特にスタートアップ支援を含め、それぞれの権限の範囲内で相互に有益と認められる分野において協力する。
- ・双方の利益のため、署名者は、それぞれの権限の範囲内で幅広い分野における官民交流の促進に努める。



ポルトガル共和国経済省との面談の様子



ポルトガル共和国経済省 レイス経済大臣との記念撮影



ポルトガル共和国経済省 フェレイラ経済副大臣との覚書締結



ポルトガル共和国経済省 フェレイラ経済副大臣(右から2人目)との覚書締結立会いとして、レイス経済大臣(中央)とアロージャポルトガル投資貿易振興庁会長(右から1人目)、太田在ポルトガル日本国大使館特命全権大使(左から1人目)

3 グリーン水素関連企業（Galp）訪問

（担当課：産業科学技術課水素社会実装推進室）

(1) 日時

2024年7月5日（金）午後5時35分から午後6時35分まで
（日本時間7月6日（土）午前1時35分から午前2時35分まで）

(2) 場所

Galp 本社

(3) 面談者

ロナルド・ドゥースブルフ 工業部門理事
セルジオ・マチャド 水素・再生可能燃料部門責任者
アナ・シルベイラ 渉外・規制関係担当ディレクター
カティア・エンリケス 渉外・インセンティブ担当責任者
カタリナ・サントス 政策ビジネスパートナー

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

(5) 内容

ロナルド・ドゥースブルフ工業部門理事、セルジオ・マチャド水素・再生可能燃料部門責任者から、シネス港で進めている27万トンの次世代型バイオ燃料を製造するプロジェクトや、100MWの大型水電解装置によりグリーン水素の製造を行うプロジェクトなど、先進的な再生可能エネルギーの取組について説明を受けました。

大村知事は、「愛知県は世界的な自動車産業の集積地である他、航空宇宙、ロボットといった産業の一大集積地であり、「日本の産業首都」と言うべき地域である。カーボンニュートラルにも取り組んでおり、水素・アンモニアの活用や洋上風力発電の実証などを行っている。愛知県にある（株）JERA^{ジェラ}では、石炭火力発電所の燃料をアンモニアに転換する世界的にも最先端の取組を行っているが、アンモニアをどのように調達するかが課題となっている。また、今後期待されるCCUS^{*}においても多くの費用がかかるなどの課題がある」と発言しました。

セルジオ・マチャド水素・再生可能燃料部門責任者から「シネス港で行うプロジェクトにおいても多くの課題があるが、私たちは諦めてない。このプロジェクトが成功することにより新たな道が見えてくる」と発言があり、再生可能エネルギーにおける課題の共有、今後の可能性について議論しました。

※CCUS（Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage^{カーボンダイオキサイドキャプチャーユーティリゼーションアンドストレージ}）：分離・貯留したCO₂を利用すること



Galp との面談の様子



ドゥースブルフ工業部門理事との記念撮影

【グリーン水素関連企業（Galp）の概要】

(1) 設立 1999年4月

(2) 代表者 フィリペ・シルバ CEO

(3) 事業概要

・リスボン市に本社を置くポルトガルのエネルギー最大手多国籍企業。ポルトガル国外では、スペイン、ブラジル及びアフリカ大陸各国の計10か国で事業を実施。

・石油・天然ガスの探鉱・生産、精製・供給、販売、再生可能エネルギー・新規事業の4つ事業を実施。

ポルトガル・スペイン渡航日程の概要（予定）

日程 (現地時間)		主な行事	宿泊地	行事結果 配布予定 (日本時間)
7/3 (水)	19:30 21:40	名古屋→羽田空港（鉄道） 羽田空港着 羽田空港発（NH203）	機中	—
7/4 (木)	05:20 09:15 11:25 15:00 16:30 19:30	フランクフルト空港着 フランクフルト空港発（LH1166） リスボン空港着 洋上風力発電関連企業（EDP）訪問 エネルギー庁訪問 外務大臣との面談、覚書締結式及び夕食会	リスボン	7/5（金） 午後2時
7/5 (金)	10:00 16:00 17:30 調整中	スタートアップ支援拠点（UNICORN FACTORY）訪問 及びスタートアップポルトガルとの覚書締結式 経済大臣との面談、覚書締結式 グリーン水素関連企業（Galp）訪問 ポルトガル首相との面談	リスボン	7/6（土） 午後2時
7/6 (土)	17:00 19:20	リスボン空港発（TP1018） マドリード=バラハス空港着	マドリード	—
7/7 (日)		—	マドリード	—
7/8 (月)	09:00 11:00 13:00 16:00 17:30	マドリード州投資促進組織（Invest in Madrid）訪問 グリーン水素関連企業（Canal de Isabel II）訪問 マドリード州知事との面談、覚書締結式及び昼食会 スタートアップ支援組織（Madrid in Game）訪問 マドリード州経済団体（CEIM）訪問	マドリード	7/9（火） 午後2時
7/9 (火)	13:00 15:35 20:45	マドリード=バラハス空港発（LH1113） フランクフルト空港着 フランクフルト空港発（NH224）	機中	—
7/10 (水)	16:45 18:25 19:25	羽田空港着 羽田空港発（NH085） 中部国際空港着	—	—

※日程については、調整中であり変更となる可能性があります。

※行事の予定時間は現地時間、行事結果の県政記者クラブへの配布予定時刻は日本時間です。

ポルトガル（リスボン市）：日本時間－8時間

スペイン（マドリード州）：日本時間－7時間